

フレッシュマン・オカザキのインド通信

～日系企業の進出～

お世話になっております！インドと日本の温度差に体調を崩してしまったオカザキです！

日本は桜も開花間近、お花見までカウントダウン。タミルナドゥ州チェンナイの気温は今の時期 35℃ 以上にもなっています。これから 40℃ 越えの灼熱地獄と化してしまうかと思うと、このまま日本で体調崩していたいと思ってしまう・・・(笑)

さて今回は、日系企業のインド進出についてご紹介したいと思います。

「BRICs」という言葉をご存知でしょうか。これは、2003 年ごろに使われ始めた言葉で、今後 50 年の経済成長の著しい新興市場として注目される **Brazil(ブラジル)**、**Russia(ロシア)**、**India(インド)**、**China(中国)** の頭文字を繋げたものです。20 世紀の経済は日欧米の 8 億人が世界経済を牽引してきましたが、21 世紀に入り、これらの国が台頭し始めました。中国、インドだけでも 25 億人以上が今後、世界経済を左右する存在になると言われています。そんな中、日系企業のインド進出が年々盛んになっています。2008 年には 550 社ほどだったのが 2013 年には 1072 社とほぼ倍増しており、今後もますます増えていく事でしょう。弊社協力工場のあるタミルナドゥ州チェンナイにも大手自動車メーカー、家電メーカーなどの日本企業が積極的に進出・展開しており、生産兼販売拠点の拡大を続けています。パナソニックは 2018 年にインド国内で最大の家電メーカーになるという大胆な目標を掲げ、開発センターを設けたり、現地での調達比率を高める方針を打ち出しました。HITACHI も、2015 年度の売上高を 2011 年度の約 3 倍にするという目標を掲げ、2015 年度までに総額 700 億円の投資を行う方針を表明しています。



ソニーとサムスンの広告。火花を散らしています。どちらかを見かければ必ずもう一方もあるように思います。(笑)

しかし、日本企業進出のずっと前からインドでシェアを上げていたのはサムスン、LG などの韓国企業でした。1990 年代後半から積極的に現地化に努め、消費者の懐に入り込むような商品を多く開発して

いたそうです。一時期は自動車、テレビ等の家電でシェア 1 位に輝くこともありましたが、現地では日本製品は値段こそ高いが非常に質が良い、韓国製品は安くてもはそこそこ悪くないと評価されているようで、一時期韓国勢が 1 位だった事もありましたが現在ではソニーが台頭し、競争が繰り広げられています。

**右の写真はサッカーインド代表のユニフォームです。→
少し前ですがパナソニックがスポンサー契約をしていました。**

因みに、インドのサッカー事情ですが、インド代表チームは最近やっとアジアカップに出られるようになり、少しずつ人気が集まっています。国内リーグは今年の 1 月に発足し、往年のスター選手たち(トセゲ、リュンベリ、テル・ピエロなど)がサッカー人気を盛り上げようと、続々参加を表明しています。



しかし、インド進出においてはインフラ面のさまざまな制約や障害への対応が、非常に大きな課題であることが浮き彫りになっています。交通網や電力・水道といったインフラ整備が遅れ、政府や自治体からの許認可にも時間がかかるインドでは、工場を建設するにも、製造、運搬するにも、多くの障害が出てしまいます。インドでは工場やホテルにいても 1 日 1 回以上は間違いなく停電になります。

メルマガでも紹介しましたがインドでは昨年春に総選挙があり、多国籍企業は不完全な法制度や複雑な税制といった問題に加え、通貨の大幅な変動にも直面しています。数年前の中国進出で出てきた問題と似たような状況になっていますね。

また、特徴としてインドの消費者は「価値」に敏感で、「自分が支払った金額に対して得られる価値」を厳しく吟味します。日本企業は高品質を追求する傾向が強いが、インドで求められるのは「入手可能な」良品であり、「高品質・高価格」であることが必ずしも通用するわけではないのです。一方で既存の製品から単純に機能を省き、安さを前面に押し出すアプローチが受け入れられるわけでもないのが難しいところです。私が関わっているインド人も何となくですが極端に品質や価格に走るというよりは、そこに十分な価値があるかを見極める事に集中しているような気がします。

そんな中、弊社はインド原石や製品で原石仲介業者や生産工場と協力関係にあります。現地法人化はしておらず営業所や出張所があるわけではないので進出企業というくくりには入りませんが、ビジネスパートナーとしてインドと深く関わっています。

～原石情報～

今回の出張で GB-4 (MD-8・新アーバン) と新しい中間色系の石を見てきたので皆さんにご紹介いたします！石種情報にもありますが、昨今の発注量減少に伴いいくつかの丁場が作業停止状態になっています。そんな中、数は少ないですが原石を見に行かせてもらいました！

【GB-4】

以前は 2 丁場あり両方許可証の問題で停止していましたが、最近 1 丁場許可とれ再開しました！目合いはアーバンの白い粒子を目立たせたような感じで、値段的にも少し安めだったのですが、再開されると値段はアーバンより高くなってしまいました。好きな人は好きな石です。私は丁場に行った事も無く、

原石初対面でしたが状態は非常に良かったです。ブロックは大きく、キズもほぼありません。むしろ大きすぎたので切ってもらったほどです。(笑)

色も地がしっかり青くて綺麗です。少し金属点ありましたが、目立つようなほどではなく十分使える石かと思います。

↓ **大きさ伝わりますでしょうか？**



【新 M-10?】

中間色系の新石種です。名前は新 M-10 についていますが、目の風合いは M-13・ベルガムグレーの方が良く似ているように思います。M-13 細目といった印象でしょうか。中間色には珍しいのですが、こちらもブロックが大きく、キズもほとんど見当たりませんでした。M-13 似となると少し値段が合わないような気もしますが、非常に良い石だと思います。



↑ **殆どが 2 m³を超えるブロックでした。**

如何でしたでしょうか。また面白そうなネタを探してご紹介いたします！